



る う て る

2010年
12月
No.756

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

■編集局■ 00190-7-71734
■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 徳野昌博 m-tokuno@jelc.or.jp
■印刷人■ 晴文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円 (郵税別金を含む)

説教

「それだけでいい、ずっとそれでいい —心のベツレヘム—」

今年も気がつけばもうクリスマスです。やってくるサンタクロースにお願い事をしたのははるか昔の出来事。皆さんはどのような12月を過ごされていますか？振り返って見れば、悲し

くなるようなことばかりだった1年だったかもしれませぬ。クリスマスチャンであつたとしても、こどものように無邪気にクリスマスを過ごすことはできそうにありません。

人生は喪失や別離の連続です。わたしもこの1年間、沢山の喪失を体験いたしま

した。もし、これを読んでいるあなたがその様な中で時を過ごしておられるのであれば、伝えたいのです。キリストはあなたのためにこそ来られるのだよ」ということを。

この夏、わたしはキリストに出会える心のベツレヘムを見つけた。それはドイツのベルリンにある「和解のチャペル」という場所です。この場所には1985年までネオゴシック様式の壮大な教会堂が建てられていました。けれどもこ

の礼拝堂は旧東ドイツ保安局によって監視の邪魔になるという理由で爆破され、跡形もなく崩れ落ちてしまったのです。教会が崩れ落ちた瞬間、人々の心はどれだけ傷ついたのでしょうか。100年以上も守られてきた場所であつたとしても、いかに荘厳な



建物であつたとしても、人はそれを一瞬で失つてしまふのです。

あなたがこの一年で失つたものは何でしょうか。大切な人ですか？財産ですか？健康を失いましたか？大切なものを、わたしは失つてしまふもの。奪われるならまだしも、自らの手でそれを壊してしまうこともあるでしょう。そして失つたものの、壊れてしまったものは決して前と同じようには戻りません。

1985年に爆破されたこのベルリンの教会もそうでした。どんなに財を次ぎ込んで、どんなに大きく同じようにはならないし、教会爆破によって傷ついた人々の心も癒すことはできません。この場所が国境を越えようとしていのちを奪われた人も大勢いました。

ですが、神さまはこの教会にひとつの奇跡を起こされたのです。2000年にこの教会は驚くべき形で再建されることになったのです。それは以前のような高



い塔の教会ではなく、卵形の小さな礼拝堂。大理石などの高価な素材ではなく、それは土と木で造られました。新しい何かではなく、爆破された聖壇や鐘を集めてそれを礼拝堂に置いたので、高価なもの何一つありません。でも何とも言えない暖かみがある場所です。その場所に足を一歩踏み込んで分かります。イエスさまがお生れになったのはまさしくこの様な場所であると。何故だか涙が溢れてきました。

聖書は語ります。「ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」(ルカによる福音書2章6〜7節)

父ヨセフはこの時どんな気持ちだったのでしょうか。妻のはじめの出産、それなのに体を横にできる部屋さえ用意する事ができなかったのです。夫として男



風の道具箱

天使の出番

ある日のこと、神様は天使に声をかけました。「この世界の中で何が一番と思うかい？」天使はそれは、人間がいちばん大切にしているもの、キラキラ輝いているものですよと答えました。神様は「それは、それをこへ持っているてくれないかい」とお頼みになりました。天使ははい、よろこんでと飛び立っていきました。天使は世界中を飛び回りキラキラ輝くものを探しました。「お金」「花」「宝物」「食べ物」それらを持って帰ろうとしたが、みな途中で輝きをなくしてしまつてました。天使は困り果て、小さな家の屋根で休むことにしました。

すると、家の中から赤ちゃんの声が聞こえます。とっても嬉しそうなお母さんです。天使はそつと家の中をのぞきました。ちょうどお母さんが赤ちゃんにお乳をあげているところでした。この嬉しいような、楽しいような、安らぎはいったい何だろう。形もなく色もないけれど、とっても幸せな気持ちがするのです。

お母さんは赤ちゃんに「愛してますよ！つまでも、大好きですよ！つまでも」と上手に歌を歌います。天使は、神様がいつも「愛している」といつて抱きかかえてくださることを思い出しました。「そつた愛だ。いちばん大切なものは愛だ。神様に持つて帰れるものは神様がくださった愛だ！」と。天使は大喜びで神様のもとへ帰っていきました。(1)

2011年度 グループワークキャンプ 参加者募集

- ◆期間：2011年7月21日(木)～8月4日(木)
- ◆内容：ミネソタ州でのホームステイとワークキャンプ(家屋修繕)
- ◆参加費用：22万円(バスポート取得費用及び海外旅行保険費用は別途自己負担)
- ◆募集人員：10名(2011.8.1現在14歳～20歳)
- ◆申込締切：2011年1月末日
- ◆問合せ・申込用紙請求先：
JELC+JELA ボランティア派遣委員会
〒50-0013 渋谷区恵比寿 1-20-26
日本福音ルーテル社団 (JELA) 気付
電話：03-3447-1521
ファックス：03-3447-1523
E-mail: workcamp@jelc.or.jp
- ◆選抜方法：2011年1月末日までに到着した申込書の中から派遣者を決定、2月中旬に派遣の可否を申込者に連絡

社会福祉法人キリスト教児童福祉会

子ども「J.E.C.」センター

情緒障害児
短期治療施設

施設長 白鳥 哲

子ども「J.E.C.」センター（以下、センター）は、主に虐待を受けて心に深い傷を負った子ども達や発達に課題を抱えた子ども達を治療するための児童福祉施設として、平成13年4月に開設された情緒障害児短期治療施設です。現在、6歳から18歳までの32名の子ども達、保育士・児童指導員などの職員

と寝食を共にしながら、各々の抱えている問題を改善するために生活しています。昨年4月に、開設以来の念願であった分教室が、町教育委員会によって当センターに設置され、小中学校から各々2名の先生が来られて、子ども達の教育に携わっています。

センターの一日は、朝の礼拝から始まります。その後、朝のミーティングをして職員はそれぞれの持ち場に向かいます。月には1回は健康教会の小泉牧師に来ていただき、聖書の学びをしています。センターで生活している子ども達は様々な問題を抱えている、その

ため、すぐに興奮する、他の子どもとトラブルを起こす、物事に集中できない等の問題を持っています。職員は時々子ども達から暴力、暴言を受けたりします。子ども達が社会で自立した生活ができるように支援しています。

現在、子ども達が勉強している教室は教育環境としては十分でないため、10月から敷地内に教育棟の建築を始めています。建築資金は財団法人JKAからの補助金と社会福祉協議会からの借入金と寄付金ですが、約150万円が不足しています。

全国の各ルーテル教会の牧師、役員会あてに献金をお願いを全国総会にていたしました。信徒の皆様がお祈りに憶え一人5000円の献金をしていただければ、写真のような立派な教育棟を3月に完成させることができます。ご支援をよろしくお願いいたします。



8月末閉め切られた教会音楽祭テーマ曲の作詩の公募では過去最多の24作品（内ルーテル6）が寄せられ、下記の3作品が採用されました。3作品ともルーテル教会の方々の作品でありましたことを、喜びと感謝をもってご報告させていただきます。

第30回教会音楽祭テーマ曲
「光」の曲募集

歌詞入選作は
いずれも
ルーテル教会員！

詩が決まりましたので、今回は曲の公募となります。採用作品は第30回教会音楽祭（2011年6月19日 東京カテドラル聖マリア大聖堂にて歌い、主を讃美いたします。

- 提出先 11050011 東京都港区芝公園3-9-18 日本聖公会東京教区事務所礼拝音楽委員会宛
- ※旋律のみの応募、録音音源による応募も可。
- 音楽祭実行委員会でご審査の上、採用者に通知しますが、採用作品でも添削を加える場合があります。なお応募作品は返却いたしません。
- 【問い合わせ先】
音楽祭担当 小海（日本キリスト教団荻窪教会）
03-3398-2104
【教会音楽祭HP】
http://10.pro.tok2.com/~yochihs/kyokai_ongakusai/ongakusai/index.html
- 【採用作品（歌詞）】
- 【作品1】
田中栄子（日本福音ルーテル神水教会員）
1. 朝の光が 聖壇に
ひとすじきらめき
差し込んで
私は一瞬 息をのむ
神様への架け橋ですね
2. ステンドグラスに
当たる陽が
ほのかに心を包みこむ
私も共に 祈ります
神様との語らいの時
- 【作品2】
木村満津子（日本福音ルーテル湯河原教会員）
1. 光ふる 海原
波の色 変えてゆく
光よ どこから来て
どこへ行く
神のみ手から
そして
人の心の深みまで
2. 光舞う 草原
花の色 増してゆく
光よ どこから来て
どこへ行く
神のみ手から
そして
人の心の高みまで
- 【作品3】
久木田恵（日本福音ルーテル池田教会員）
1. よろこびの歌はずむ時
御業を信じて
空を上げば
手をさしのべる
イエス様がいとくさる
微笑の輝き
そらよ、そらよ、
優しく晴れて
 2. 描いた夢が消える時
御心求めて
空を上げば
光をそそぐ
イエス様がいとくさる
なぐさめの静けさ
そらよ、そらよ、
優しく晴れて
 3. 祈りの道を 歩む時
御言葉抱いて
空を上げば
寄り添い守る
イエス様がいとくさる
やすらぎの約束
そらよ、そらよ、
優しく晴れて

私の本棚から

中村妙子 訳
「サンタクローズって
いるんでしょか？」
偕成社

有名な本で「サンタクローズっているんでしょか」という本があります。今から110年以上も前の、1898年にニューヨークの新聞の社説が8歳の女の子の、「サンタクローズって、ほんとうに、いるんでしょか？」という素直な質問に新聞記者のフランク・チャーチが答えたものです。このような言葉で8歳の女の子に語っています。

「バージニア、おこたえます。サンタクローズなんていないんだという、あなたのお友だちはまちがっています。きつと、その子の心には、いまはやりの、なんでもうたがってかかる、うたぐりやこんじょうというものが、しみこんでいるのでしよう。うたぐりやは、目にみえるものしか信じません。うたぐりやは、心せまい人たちです。心がせまいために、よくわからないことが、たくさんあるので、それなのに、じぶんからわからないことは、みんなうそだときめているのです。

けれども、人間の心というものは、おとなのばあいでも、子どものばあいでも、もともとたいそうちっぴけなものなんですよ。わたしたちのすんでいる、このかぎりなくひろい宇宙では、人間の心は、一ぴきの虫のようには、そう、それこそ、ありのように、ちいさいのです。

そのひろく、またふかい世界をおしはかるには、世の中のことすべてをりかかし、すべてをしることのできるような大きな、ふかいちえがひつようなのです。」

このように疑いをいだくのでなく、信じる心をもつことを記者は丁寧に伝えていきます。さらに、信じることは、人間にとっても最も大事な愛と信頼がそこから生まれてくることを語っています。

信じる世界の中で生きることに、これがキリストの誕生を祝うクリスマスです。信じる世界の中で私たちの心が新たに生まれ、愛と信頼に満ちた日々の生活を送っていきたいものです。（青田勇）

東海教区宣教60周年記念信徒大会

実行委員長 平瀬暢子

「プログラムが良ければ、魅力的でなければ、人は集まらない、去るのみ。」このことを根本理念として、実行委員会は都合9回集まり協議し60周年記念大会に臨みました。

まず、次世代を担って戴くために若い方々の参加を願う大人も子供も一緒に楽しんで、ルーテルを元気にすること、開会礼拝は子

供中心の礼拝にしました。成人向きには講演会とパネルディスカッションを企画し、選択日本人参議院議員のツルネン・マルティン氏を講師に迎えました。基調講演は「クリスチャンの使命」と題して、午後のパネルディスカッション

では氏はパネラーとして参加して戴き、活発な討議が交わされました。講演内容は「4回の落選を経てまでなぜ国政に携わったか」「四国8カ所を53日間かけて回られた理由とは」など、とても興味深いお話で

した。また「他宗教とどう付き合うか」は私達に考える良い機会を与えてくださいました。堅いお話ばかりでなく、癒しの時として、ソプラノの小杉由子さんの奉仕によるプチコンサートをもうけました。

予定していた200名の参加者を迎え、帰りに「良いプログラムだった」との言葉をいただきました。ここに至るまでには激論もありましたが、相手の立場に立って物事を考えたこと、パソコンによる新しいシートを開発して参

加者名の間違いをなくしたことで、ドタキャンが赦されると言う悪習をなくしたこと、強い意見に押し切られることなく、どこまでも話し合いを続けられたことなどが印象に残りました。

濱名教会集会所 建築委員 鈴木路加

30畳ほどの宿泊可能な濱名教会集会所がよおやく完成しました。関係者の皆さん、集会所建築を知り励ましてくれた皆さんには、ご理解・ご協力を頂き、本当に感謝いたします。

「んっ？集会所？」と思つた皆さんに説明をします。濱名教会は、新しい会堂の建築をきっかけに「地域に根ざした教会」を目指し、バンド



「ピース！〜」として、35名の青年牧師を含む「第14回全国青年修養会」が開催されました。

第14回全国青年修養会

実行委員長 末吉潤一

10月9日〜11日に、長崎市にある「長崎市立口吉青年の家」をメイン会場



今年テーマは「We are PEACE makers」プログラムを4つの段階（ピース！〜イキング）に分け、様々な平和から戦争を切り口とした平和までみんなまで考え意見交換をしました。

2日目、路線バスを使って、ルーテル長崎教会の礼拝へ。礼拝後には教会員方が作ってくださった美味しいお弁当をいただき、交流のひと時を持つことができました。本当にありがとうございました。その後「ピース」である戦争を切り口とした「平和」を学

ぶために、「長崎原爆資料館」（戦争の被害的側面）と「岡まさきはる記念長崎平和資料館」（戦争の加害的側面）へ、「原爆爆心地」や「平和祈念公園」にも行きました。参加者は、戦争の恐ろしさや罪深さも感じました。

参加できた青年は35名でしたが、参加できなかった青年も含め多くの方々の想いを抱き「PEACE maker」として、それぞれの地へ派遣されました。

来年も全国青年修養会が皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

いちど、来てみる!!

濱名教会集会所

建築委員 鈴木路加

30畳ほどの宿泊可能な濱名教会集会所がよおやく完成しました。関係者の皆さん、集会所建築を知り励ましてくれた皆さんには、ご理解・ご協力を頂き、本当に感謝いたします。

「んっ？集会所？」と思つた皆さんに説明をします。濱名教会は、新しい会堂の建築をきっかけに「地域に根ざした教会」を目指し、バンド

やフラダンスの練習学童保育など、地域の人が気軽に来られるように活動してきました。少しずつではありますが利用者が増え、教会が手狭になってきた事がこの集会所建築の最大の理由でした。

次に「集会所では、何が出来るの？」と思う方に説明をします。「濱名教会では、何でもできる」と思っていたら「ほうが幸いです。海あり山あり川ありのちよいちよいした田舎です、色々なアイテムがこの教会には揃っています。

主催側の希望していることは、ある程度出来ます。但し、20人程度の少人数に限りませんが、いづれにせよ、一度濱名教会に来てもらうのが一番に正しくて、楽しいかと思えます。「まっ、いちど来てみる」

待降節の日々、待ちつつ、望みつつ、来たります救い主をお迎えする準備にいそしんでおられることと思います。主の平安を祈ります。 広報室

住所変更のお知らせ

松隈員雄先生 〒862-0909 熊本県熊本市湖東2丁目16番8号

2011年教会手帳住所録の訂正

小石川教会のFAX番号は削除。電話番号を（共用）としてください。

SLEY宣教師 着任のあいさつ

ボウツカ・マルツティ

九月からスオミ・キリスト教会で妻のバイヴィと共に牧師/宣教師として働き始めました。私はフィンランドの南部、人口約4000人の静かな場所の出身です。多くの湖や広大な森林のある農村で生まれたので、森が大好きです。15

年ぶりに来日し、東京には神様が愛する人間が、私の出身地よりもたくさんいることに再び気付かされました。だからこそ一人でも多くの人に、天国への道/イエスキリストについて伝えたいと思います。

（私は牧師と教会音楽家、妻のバイヴィは小学校の教師で、ここ数年日本の教育について博士論文を書いていました。）



吉村博明(信徒宣教師)

長年フィンランドで暮らして誇れることがひとつだけあります。産時に、妻の手を握って赤



子が頭から足まで無事出てくるのを全部見届けるのが夫の勤めという国柄です。炊事洗濯家事育児は職業人の妻とほぼ同等にこなしてきました。毎日が時間との戦い、体力の限界への挑戦でしたが、神の御言葉に支えられてやり遂げました。今回、日本にきて任命が私が中心なので、普通の日本の男に戻ってしまつと危惧しています。皆様よろしく。